第44号
2008/02/01

フクタニュース

発行
(株)フクタ
砕石部

感謝・・・感謝・・・

新しい年が始まりました。（すでに一ヶ月が過ぎていますが）

『新』の字の語源は『立木ヲ斤ル』ということから出ており、木の切口のなまなましさをあらわしているそうです。

そはさてお、近頃の我社の社長は不気味なほどに笑顔です。そして事あるごとに『感謝』と二度言うのです。人に感謝するときは、相手に一段下がったところに自分をおかなければなりません。そこには謙虚で素直で思いやりのある自分があると思います。

今年は、木の切口のようなみずみずしさと感謝の気持ちを持ち続けたいものです。

産廃プラント　発電機交換

かねてから、調子の悪かった産廃プラントの発電機を交換しました。

産廃プラントは、施設全体を発電機による自家発電によりまかなっています。

従来の発電機は平成9年に中古品を設置して以来10年間使用してきましたが、今回同型同性能（150KVA）のものと交換したものです。

従来は、エンジン回転が一定せずプラントが停止してしまう等のトラブルがありましたが、降順調に稼動できることとなりました。

― 工場管理者養成コースを受講して ―

中小企業大学校の６ヶ月、のべ１８日間にわたる工場管理者養成コースを受講してまいりました管理者に求められる管理手法、心構えを学ばせていただきました。

研修後半はゼミ形式の課題研究で自社の問題点の把握と、改善に取り組み最終日に発表しました

同校は仙台市郊外落合にあり、閑静な環境の中充実した設備と宿泊施設を備え、研修には最適な場所です。また、熱心な講師陣と親切な職員さんにささえられ、２５名の受講者全員が無欠席で終了することができました。講習は非常に濃密で昼の講義が終わると、談話室で酒を酌み交わしながら夜の補講があります。先生、職員、受講生、和気あいあい本音の話ができたと思います。業種が違っていても抱えている悩みは一緒で、仕事に対する情熱が感じられ勇気をいただきました。

今回学んだことを糧にして、経験を重ね仕事に生かしていきたいと思います。

補講(？)風景

⇒担当の北山主任

HOTする冬

今年の冬は暖冬ではあるまいか。長期予報でそんな話を聞いた記憶があるが、さにあらず。近年に無く寒い。秘かに「長渡路の滝」と呼んでいる事務所から見える滝(？)も全面結氷している。温暖化と騒がれると冬寒い方がHOTするのは私だけだろうか。冬は冬らしく、夏は夏らしく、四季のけじめがはっきりとしてこそ日本だと思える。正常な夏を期待したいものだ。

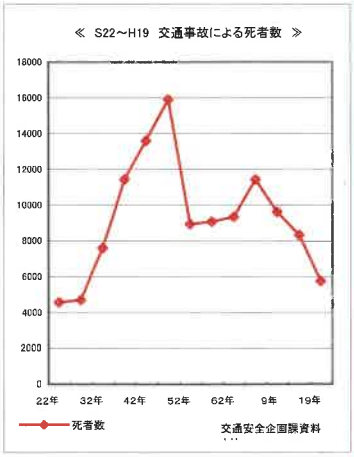
長渡路の滝(？)

◇ ◇ 我田引水 ◇ ◇

平成19年の交通事故統計が発表になった。昭和28年以来、54年ぶり交通事故死者数が6，000人を切った。

昭和21年からの統計で59万人あまりの生命が犠牲になっている。これは、盛岡市2コ分の人口である。 減少要因としては、飲酒運転に対する社会的関心の高まり、運転マナーの向上、車両の安全性向上等があげられるだろうが道路整備によるところも大きいと思う。幅員の拡幅、見通しの悪いカーブ、峠等の難所の解消、車両と歩行者の交通分離。道路整備が果たしてきた役割は見逃せない。

ちなみに、道路事情の良いと思われる関東、東海では大きく減少しているが、東北、北海道では逆に増加している。（青森、岩手、山形がワースト3）道路建設の末席でたずさわる者として、これからも『安全な道路』づくりに貢献したいものである。



編集後記

またバレンタインが近づいてきましたね。女子事務員にとってはちょっと出費が痛い感じがしますが。私なんて日頃お世話になってる方へのいわゆる『義理チョコ』ってのがどうもメインになってしまって。最近では、女同士で送る『友チョコ』がチョコレート会社の調べによると、全体の5%をしめているそうでうです。色んな『○○チョコ』があってついていけない・・・(^_^;)